

「地域チャレンジ！ 公募提案型協働事業」を実施しています

閩協働推進室(市役所3階) ☎32-2032

市では、地域が抱える課題の解決に向け、市民活動団体や事業者が持つ特性を生かした事業を公募し、市と協働で取り組む「公募提案型協働事業」を実施しています。
平成28年度に取り組む実施団体や事業内容を紹介し、詳しくは、お問い合わせください。

団体名	事業名	事業内容
つやまこっちTV	インターネット動画サービスを利用した津山の情報発信事業	津山市の観光名所やイベント情報、文化、行政情報などを、インターネット動画配信サービスを活用して、県内外に広く発信する
美作の中世山城連絡協議会	体験型地域歴史学習 ～戦国山城から城下町津山の国づくりへ 城に焦点を当て、遺構にみる先人の知恵～	江戸時代に津山のまちづくりの出発点となった津山城とそのルーツになる中世山城に焦点を当て、登山を通じた遺構の見学や、シンポジウムの開催により学習を深める
津山手をつなぐ親の会	①ペアレントプログラム津山地域バージョンの実施(親支援) ②障害のある本人たちの発表会の実施(本人支援)	障害のある子どもを育てる家族の悩みを軽減し、共感し合える仲間づくりを行うため、講座やグループワークを開催する。また、障害のある本人たちが主体となった「就労」をテーマにした発表会を開催する
津山市身体障害者福祉協会	障害の理解のために	「障害者差別解消法」の趣旨や内容を広く市民に普及するためのセミナーを開催し、併せて人権啓発パンフレットを作成することで障害のある人への理解を深める
津山《風と光と心の劇場》実行委員会	ミュージカル「ピーターパンのぼうげん」	性別や年代、職業の壁を越えて、誰もが参加できる住民参加型のミュージカル公演を開催する
NPO法人つやま城西ほりおこし隊	「城西再発見！ 元気発信プロジェクト」	城西地域の象徴ともいえる寺や作州民芸館を中心に、地域の魅力を再発見する交流イベントを開催する
岡山県立津山工業高等学校	津山工業高校オープンファクトリー	高校生が先生となり、中心市街地の商店街などと連携して、子どもを対象にした工作教室を開催する
岡山県立津山工業高等学校	朝ご飯ギライを救え、地域を元気にするヒーロー誕生！	11月に開催されるつやま地域産品まつりや市内各所で、食育ヒーローショーを公演し、食育の啓発活動を行う
NPO法人 未来へ	社会的養護当事者たちのアフターケア相談所PR活動	児童養護施設などを退所した人へのアフターケアをする相談所を開設して自立をサポートするとともに、地域への周知を行う

津山広域都市計画の変更原案の縦覧と公聴会の開催

閩〒708-8501津山市山北520都市計画課(市役所5階) ☎32-2096

津山広域都市計画の変更原案の縦覧と公聴会を開催します。公聴会に出席して意見を述べようとする人は、事前に公述申立書を提出してください。

変更内容 都市計画道路総社川崎線の変更(沼・林田地区)、都市計画用途地域の変更(山北・北園町・沼地区)

原案の縦覧方法、公述申立書の提出方法

縦覧期間 10月28日(金)～11月11日(金)午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝日を除く)
ところ 都市計画課
縦覧内容 津山広域都市計画(道路・用途地域)の変更原案
公述申立書の提出方法 縦覧期間内に、都市計画課に備え付けの用紙に必要事項を記入し、直接または郵送で提出する

公聴会

縦覧期間 11月24日(木)午後2時～4時
ところ 市役所2階大会議室
意見を述べることができる人 津山市民または利害関係がある人。同じ趣旨の意見などが多数ある場合、意見を述べる人を選定し、時間を制限することがあります。また、原案に関係の無い意見を述べることはできません
傍聴人の定員 80人(当日先着順)

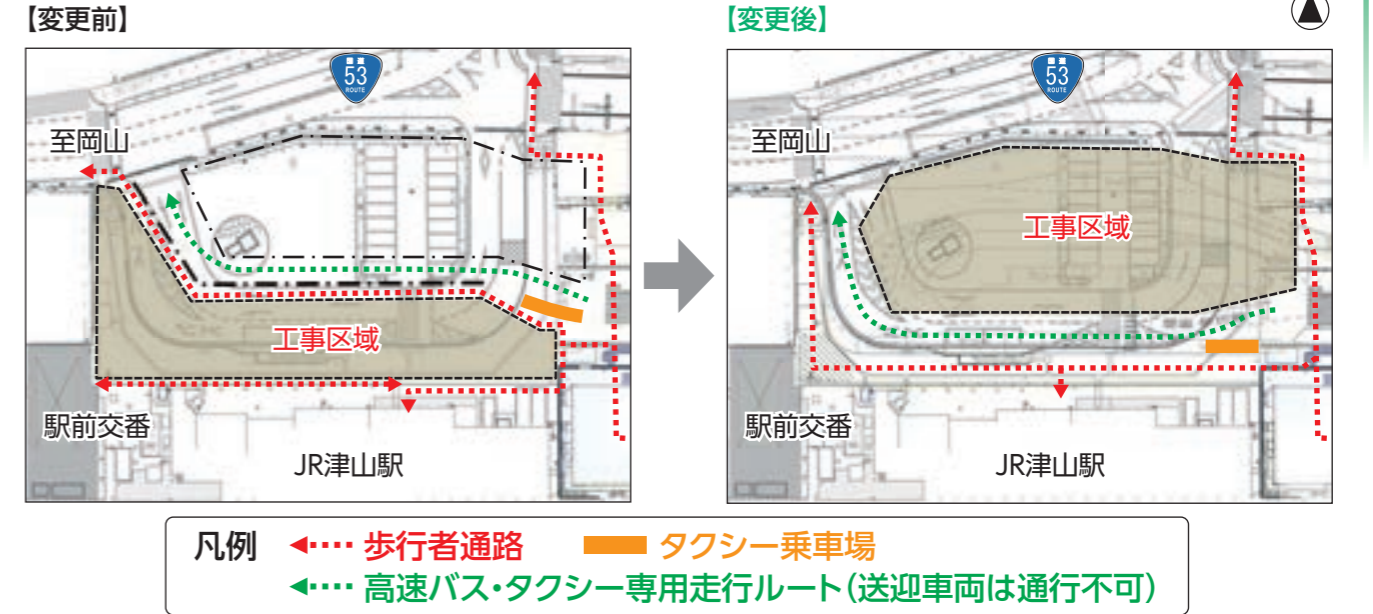
※縦覧期間中に公述申立書の提出が無かった場合、公聴会は中止されます。その場合は、市ホームページでお知らせします

J R 津山駅北口広場の工事区域の変更

閩都市計画課☎32-2096

J R 津山駅北口広場では、現在、広場の南側区域で工事を行っています。10月下旬頃(予定)から、工事区域を変更します。これに伴い、歩行者通路も次の図のとおり変更します。また、タクシー乗車場についても、工事の状況に合わせて変更しますので、現地の案内看板に従って利用してください。

なお、J R 津山駅への送迎車の走行通路については変更ありません。



公共交通を利用しましょう「10月14日は鉄道の日」

閩経済政策課(市役所4階) ☎32-2075

鉄道やバスなどの公共交通は、高齢者や学生などの移動手段として、とても重要です。しかし、近年、自動車を利用する人の増加などの理由により、公共交通を利用する人が年々減少しています。このまま、公共交通の利用者が減少すると、運行を維持していくことが難しくなり、利用者の皆さんに不便をお掛けするようになるかもしれません。

身近にある公共交通を維持していくために、一人ひとりが「公共交通を守る」という意識を持ち、鉄道やバスを積極的に利用していくことが大切です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

J R 津山線・姫新線・因美線の年間乗車人数の推移(単位:人)

